

2024年 第41週（10月7日～10月13日）の感染症発生動向調査情報

<今週の内容>

- 1 新型コロナウイルス感染症について
- 2 管内の感染症発生状況（新型コロナ以外のもの）

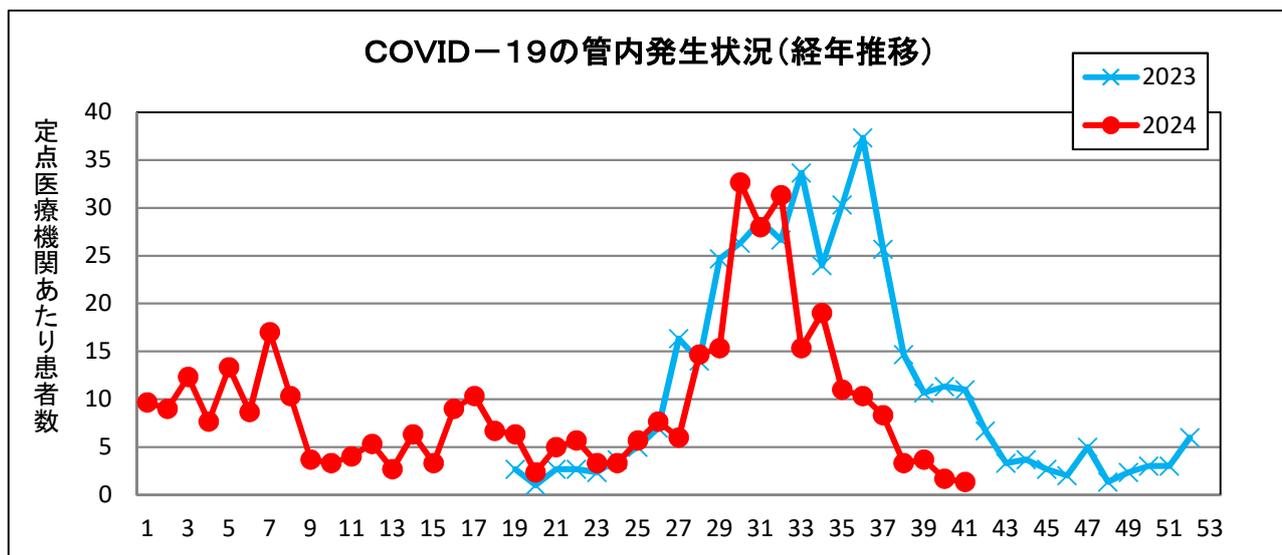
手足口病及び伝染性紅斑が、それぞれ終息基準値を下回りました。

1 新型コロナウイルス感染症について

管内では、定点あたり報告数は今週1.33人（先週1.67人）で先週から減少し、兵庫県内の定点あたり報告数も今週1.62人（先週2.14人）となり、先週から減少しました。地域別では、赤穂保健所管内が5.50人と最も多く、福崎保健所管内4.00人、宝塚保健所管内3.44人となっており、年齢別では、10歳代が26%と最も多く、次いで70歳代及び80歳以上が10%となっています。

また、県内の社会福祉施設等においては、今週1件（先週1件）の集団発生が報告されています。

県民の皆様には引き続き3密の回避、手指消毒、効果的な換気、マスクの適切な着用といった基本的な感染症対策をお願いします。



注) 2023年5月8日から新型コロナウイルス感染症は定点把握になりました。

<感染症に関する情報>

◆兵庫県ホームページ

[新型コロナウイルス感染症\(COVID-19\)に関する情報](#)

[兵庫県感染症情報センター](#)

◆厚生労働省ホームページ

[新型コロナウイルス感染症について](#)

◆国立感染症研究所ホームページ

[新型コロナウイルス\(COVID-19\)関連情報ページ](#)

2 管内の感染症発生状況（新型コロナ以外のもの）

(1) 管内の全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症）

第41週は、報告はありませんでした。

(2) 定点把握感染症（指定された医療機関から報告を求める感染症）

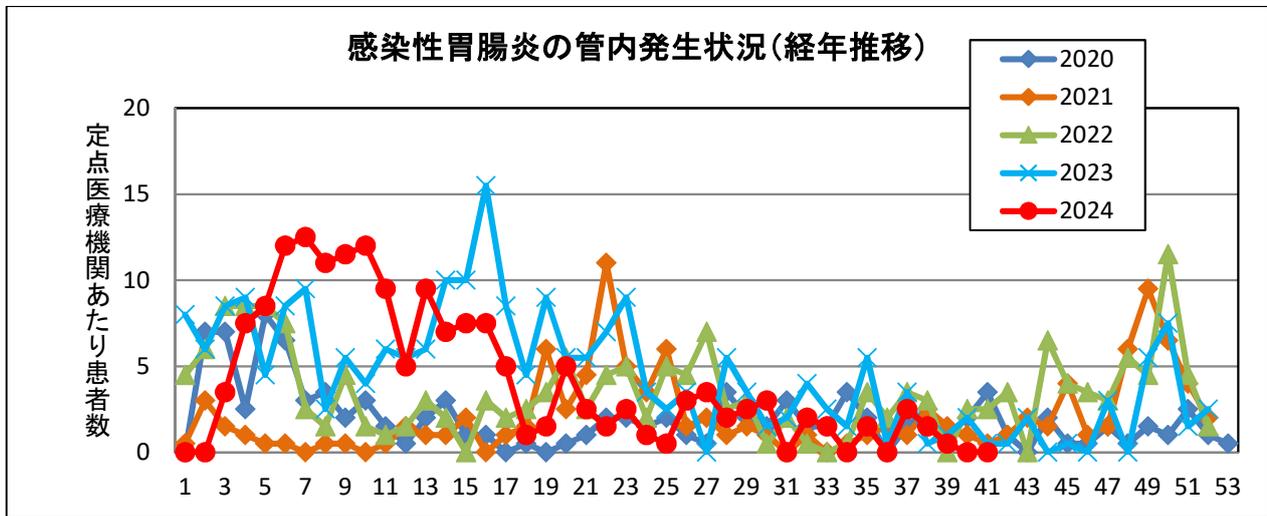
（2024年4 | 週）※定当：定点あたり患者数

インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		COVID-19	
報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当
2	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.5	3	1.5	-	-	-	-	4	1.33

ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎4(ロタウイルス)	
報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当
2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

管内では、感染性胃腸炎の定点あたり患者数が0人で、先週（0人）から横ばいで、兵庫県では3.49人で、先週（3.56人）から減少しました。

トイレの後や、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗うようにしてください。また、便や嘔吐物を処理する際は、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、処理後は石けんと流水で十分に手を洗ってください。カキなどの二枚貝を調理する際は、中心部まで十分に加熱してください。



<感染症に関する情報>

◆兵庫県ホームページ

[感染性胃腸炎\(ノロウイルス等\)について](#)

◆国立感染症研究所ホームページ

[感染性胃腸炎とは](#)

また、管内の手足口病の定点あたり患者数は1.50人で、先週（10.00人）から減少し、終息基準値（2.00人）を下回りました。また、兵庫県では6.91人で、先週（5.97人）から増加しました。手足口病は、手のひら、足の裏、口の中、おしりなどに米粒大の小さなもりあがった発疹が見られます（1週間程度で治ります）。ときには手や足の甲にも出ることがあります。よだれも増え、37～38℃の発熱が1～3日程度続くことがあります。手足口病のウイルスは、おもに便や鼻汁などの分泌物のなかにあり、手を介して口に入ることで感染するので、用便の後などはきちんと手洗いすることが大切です。

<感染症に関する情報>

◆兵庫県ホームページ

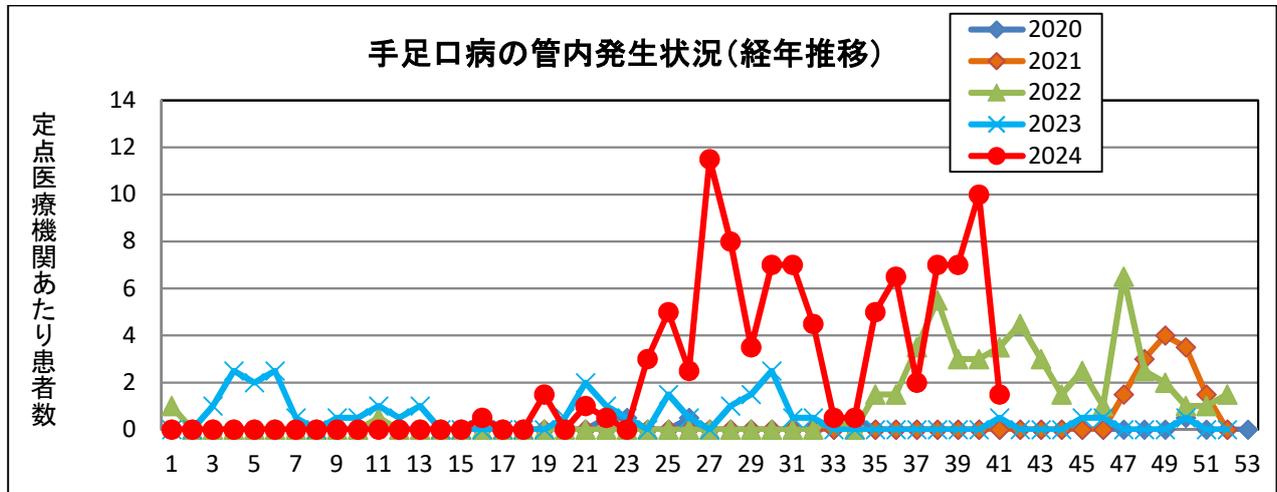
[夏の感染症にご注意を!](#)

◆厚生労働省ホームページ

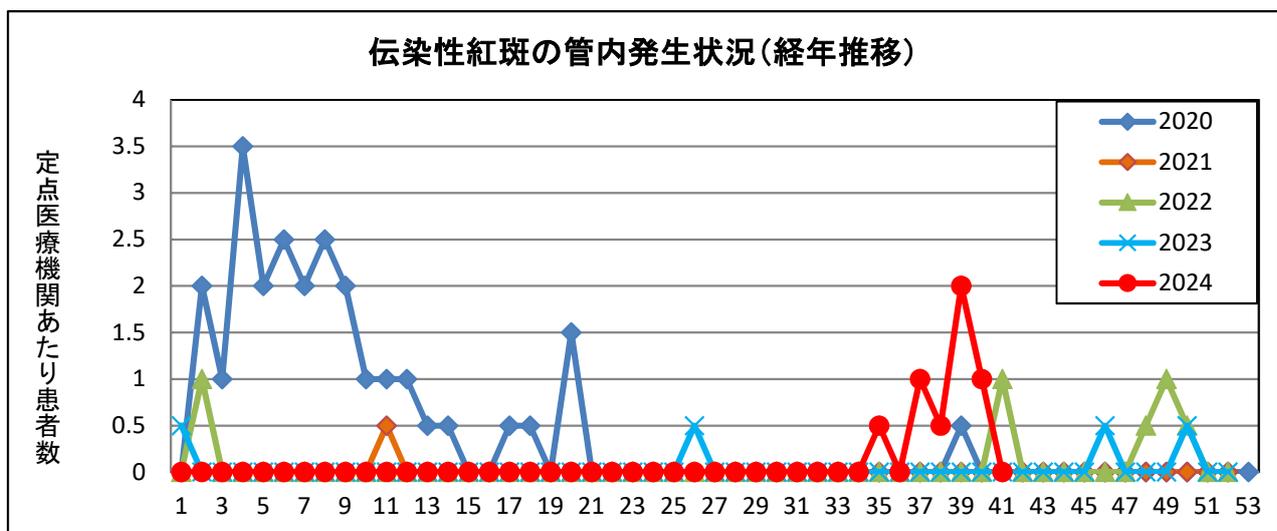
[手足口病に関する Q&A](#)

◆国立感染症研究所ホームページ

[手足口病とは](#)



また、管内の伝染性紅斑の定点あたり患者数は0人で、先週(1.00人)から減少し、終息基準値(1.00人)を下回りました。兵庫県では0.16人で、先週(0.03人)から増加しました。伝染性紅斑は、「ヒトパルボウイルスB19」による感染症で、両頬と手足の赤い発疹を特徴とし、頬がリンゴのように赤くなることから、「リンゴ病」とも呼ばれています。子どもに多い感染症ですが、大人が感染することもあります。頬に発疹が出現する7~10日前くらい前に、微熱や風邪症状が見られることが多く、この時期にウイルスの排泄量が最も多くなり、発疹が現れたときには感染力はありません。発疹のピークは3~4日目で、7~10日経つと次第に消えていきます。一度感染すると終生免疫が得られますが、過去に感染したことのない妊婦が妊娠中に初めて感染すると、赤ちゃんが胎児水腫という病気になることがまれにあるので注意が必要です。発疹が出現する前の時期に感染力があるため、手洗いやマスクの着用等、日頃からの基本的な感染対策が重要です。



<感染症に関する情報>

◆国立感染症研究所ホームページ

[伝染性紅斑とは](#)